

一時保管エリアコンテナ点検の実施状況

2021年7月29日



東京電力ホールディングス株式会社

コンテナからの放射性物質漏えいに関する点検強化

コンテナからの放射性物質漏えいに関する点検強化

- バウンダリ機能（容器収納、シート養生）が必要※なコンテナ(5,338基)の外観目視点検の実施
7月27日時点 5,270基完了
- 内容物が把握できていないコンテナ(4,011基)の内容物確認（水分有無を確認含む）の実施
（上記の外観目視点検終了後に開始）
- 上記の外観目視点検、内容物確認の結果を踏まえてコンテナの点検内容、点検頻度を決めて定期的に点検を行う
- コンテナの一時保管を申請する際、収納物に水分を含んでいないことを確認するため、収納物の写真を添付して申請する運用に変更する(新規)
- バウンダリ機能（容器収納、シート養生）が必要※なコンテナを保管している一時保管エリアのモニタリングの強化

＜コンテナの外観目視点検中のモニタリング強化（継続）＞

コンテナから放射性物質が漏えいしていないことを確認するため、一時保管エリアの排水経路となっている側溝や溜枳直近の線量当量率（70μm, 1cm）を1回/日（日曜日除く）定点測定し、有意な変動が無いことを確認する

＜一時保管エリアのモニタリング＞

- ・ エリア巡視及び空間線量率測定：1回/週、空气中放射性物質濃度測定：1回/3ヵ月（継続）
- ・ 念のため、コンテナを移動した都度、移動前に定置していた地表面の線量当量率（70μm, 1cm）を測定し、コンテナからの漏えいが無いことを確認する（継続）

＜雨水排水及び海水のモニタリング＞

- ・ 7月10日から一時保管エリアの雨水排水経路である陳場沢川：1回/1ヵ月⇒1回/日（強化）
- ・ 物揚場排水路（連続）のモニタリング（継続）
- ・ 陳場沢川河口付近の海水モニタリング（1回/1日）
- ・ 側溝にはゼオライト土嚢に加え、Sr吸着材を設置し、3ヵ月に1回清掃と土嚢/吸着材の設置状況を確認

※飛散抑制（対象：表面線量率（γ）で0.1mSv/h以上の瓦礫類の他、表面線量率（β）が0.01mSv/h以上の瓦礫類）

コンテナ外観目視点検の進捗状況

➤ 6月1日に一時保管エリアXのコンテナから漏えいが確認されたことを踏まえ、当該エリアにおける点検を一時中断し、今後の点検時に、コンテナから水が漏えいするリスクを考慮し、以下の安全対策を講じることとした。対策の準備が整ったことから、6月30日より一時保管エリアXにおける外観目視点検を再開した。

- ① 外観目視点検のためのコンテナ移動前に、サーモグラフィを使用し、外部からコンテナ内部の水の有無を確認
- ② コンテナ移動時に水が漏えいする可能性があるコンテナについては、移動前に蓋と本体の間に、漏えい防止のための発泡ウレタン等を充填

➤ 一時保管エリアX以外においても、腐食が著しい箇所等に補修を行いながら点検を実施したこと、および一時保管エリアの現場状況に合わせて使用する重機の変更を行ったこと等により、スケジュールの見直しを実施した結果、外観目視点検の完了時期は8月上旬※になる見通し。

※天候の状況次第で前後する可能性有り

2021年7月27日時点

点検エリア	点検対象総基数	点検完了基数		点検未完了基数
			腐食等確認基数 ※すべて補修済	
E 1	1,598	1,572	391	26
E 2	428	428	19	0
F 1	99	99	28	0
P 2	361	319	12	42
W	1,489	1,489	63	0
X	1,363	1,363	128	0
合計	5,338	5,270	641	68

➤ 腐食等が確認されたコンテナについては、必要に応じ詰替えを実施予定

今後の対策について

コンテナについて

- 現在実施しているコンテナ1基ごとの外観目視点検を今後も定期的に実施
実施頻度は今回の外観目視点検結果を踏まえて決定
- 今後実施する内容物確認に合わせて、腐食コンテナから新しいコンテナへの詰め替えを実施

ノッチタンク、コンテナ他、一時保管エリア全体（屋根があるエリアNを除く）

- ドローンによる上空からの定期的な確認（四半期に1回）
- 震度5強以上の地震発生時にはドローンで上空から確認
（ノッチタンク天板の固定が外れていないかの確認を含む）
- ノッチタンク天板ハッチが容易に開かないよう土嚢を設置
- シート養生

一時保管エリア及び周辺側溝の管理

- モニタリングの強化

＜コンテナの外観目視点検中のモニタリング強化（継続）＞

コンテナから放射性物質が漏えいしていないことを確認するため、一時保管エリアの排水経路となっている側溝や溜枳直近の線量当量率（70μm, 1cm）を1回/日（日曜日除く）定点測定し、有意な変動が無いことを確認する

＜一時保管エリアのモニタリング＞

- ・ エリア巡視及び空間線量率測定：1回/週、空气中放射性物質濃度測定：1回/3ヵ月（継続）
- ・ 念のため、コンテナを移動した都度、移動前に定置していた地表面の線量当量率（70μm, 1cm）を測定し、コンテナからの漏えいが無いことを確認する（継続）
- ・ エリア周辺の側溝にはゼオライト土嚢に加え、Sr吸着材を設置し、3ヵ月に1回清掃と土嚢/吸着材の設置状況を確認

＜雨水排水及び海水のモニタリング＞

- ・ 一時保管エリアの雨水排水経路である陣場沢川河口（河川部）：1回/1ヵ月（降雨時）⇒1回/日（実施中）
- ・ 陣場沢川河口付近の海水モニタリング：新規⇒7月20日に調査として実施 ⇒1回/日（7月26日から実施中）

(参考) コンテナ補修前後の比較



補修前（全体像）



補修前



補修後